

【2012年度の海外医療従事者日本研修】

★ガルシア先生日本医療・語学研修★

当基金ではこれまで16人の中国人、7人のインドネシア人、7人のフィリピン人など計44人の海外医療従事者（医師、技師、看護師）を現地の日本人会等よりの依頼、推薦に基づき日本に招聘し日本の医療機関での医療研修、語学研修を行い、研修後其々の国の医療機関で邦人の診療、ケアにあたって頂いてきました。

今回フィリピン、マニラ日本人会診療所の常勤医師ガルシア(Garcia)先生を同日本人会の推薦で招き研修をスタートさせました。

研修生氏名：Joel Bayca Garcia, MD（ガルシア医師）

所 属：マニラ日本人会診療所

研修機関：国立国際医療研究センター、トッランゲージ（日本語）

研修期間：10月1日～12月19日

10月1日午後、成田空港第2ターミナルはそれ程は混んでいませんでしたが何やら腕章をつけたTVカメラマンや報道関係者の一団が出口で待ち構えておりました。まさかガルシア先生を・・・とは全く思いませんでしたが、到着から1時間たっても現れないガルシア先生をイライラしながら待ってた小生の前にカメラフラッシュとともに現れたのはオリンピック&世界選手権13連覇を成し遂げた吉田沙保里選手でした。イメージより小柄だなーと思いつつ華やかな一陣が去った後やっとガルシア先生が2つの巨大なバッグをカートにリュックを背に現れました。Welcome

10月2日、当基金でトッランゲージさんの語学講師と打合せ。別れ際にガルシア先生、片言の日本語で「O DA I JI NI（お大事に）」と。一同大爆笑。マニラの診療所では当基金派遣の菊地医師が相談者さんとの別れ際に（日本ならどこでもそうですが）「お大事に」と言ってるのを覚えていて→GOOD BY 或 SEE YOU は日本語で O DA I JI NI なのだと理解していたのですね。

10月3日から研究センターに寝泊まりして（語学研修もセンターのご厚意でセンター内語学研修室を使わせて頂けることになりました）3ヶ月弱の間日本医療研修と語学研修に励みます。3ヶ月後どれだけ進歩してるか楽しみです。



ではガルシア先生「お大事に」じゃなくて
「頑張^って」。

研修後の姿はまたご報告します。

(J O M F 梶谷)